

第4章 高齡者保健事業

第1節 健康寿命の延伸

1 健康診査

現在、健診受診者の多くが毎年受診していますが、未受診者との二極化が進行していることから、未受診の理由を把握・分析し、ターゲットを絞った未受診層への働きかけ方を行い、新規受診者が増加に転じました。

今後も未受診層への働きかけ方を検討し、受診率のさらなる向上を図ります。

また、受診しやすい健診体制の整備を図り、特に生活習慣病が急増する前に壮年期の受診率向上を図ります。

■各種健診受診率・受診者数

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
特定健診 受診率(%)	計画値	65	65	65	60	60	60
	実績値	42.3	52.9	53.0			
基本健診 受診者数(人/年)	計画値	600	600	600	450	450	450
	実績値	391	449	450			
肺がん検診 受診者数(人/年)	計画値	1,400	1,400	1,400	1,450	1,450	1,450
	実績値	1,439	1,462	1,470			
胃がん検診 受診者数(人/年)	計画値	560	560	560	770	770	770
	実績値	770	772	770			
大腸がん検診 受診者数(人/年)	計画値	880	880	880	1,050	1,050	1,050
	実績値	1,005	1,016	1,020			
子宮頸がん検診 受診者数(人/年)	計画値	300	300	300	350	350	350
	実績値	299	340	300			
乳がん検診 受診者数(人/年)	計画値	250	250	250	350	350	350
	実績値	354	342	350			
前立腺がん検診 受診者数(人/年)	計画値	180	180	180	200	200	200
	実績値	206	198	200			
歯周疾患健診 受診率(%)	計画値	25	25	25	60	60	60
	実績値	53	48	50			
骨粗しょう症 健診受診者数(人/年)	計画値	90	90	90	90	90	90
	実績値	67	71	80			
後期高齢者歯科健診 受診率(%)	計画値				13	13	13
	実績値						

2 生活習慣病予防教室・健康増進教室(健康教育)

対象を成人期に限らず、子育て中の親や子どもも対象として予防活動に重点を置いた健康教育を実施し、幼少期から望ましい生活習慣の定着に向けた意識付けを図っています。高齢者が集まる場に歯科衛生士や栄養士、保健師が出向き、専門性を活かした健康教育を行った結果、フレイル²の周知が図られ、理解する人も増えています。

今後も、健診事後指導や病態別健康教室の開催により生活習慣の改善が定着するよう支援するとともに、フレイル予防のさらなる推進を図ります。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数(回/年)	計画値	130	130	130	80	80	80
	実績値	77	76	80			
人数(人/年)	計画値	2,600	2,600	2,600	1,200	1,200	1,200
	実績値	1,097	1,203	1,200			

3 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な事業実施

健康寿命を延ばし、その人らしくいきいきとした生活を送れることを目指して、令和3年度から「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」について取り組みを開始しました。健康寿命の延伸のために、生活習慣病等の重症化と生活機能の低下を防止する取り組みをハイリスクアプローチ(個別支援)とポピュレーションアプローチ(通いの場へのアプローチ)を組み合わせ実施します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ハイリスクアプローチ 支援者実者 数(人/年)	計画値			265	200	200	200
	実績値	97	175	130			
ポピュレーション アプローチ実施者 数(人/年)	計画値			44	40	40	40
	実績値	119	96	80	-	-	-

² フレイル：年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい健康と要介護の間の虚弱な状態のことを意味する。

4 オーラルフレイル予防教室

むし歯・歯周病予防の普及啓発を実施していますが、口腔機能の低下を自覚している高齢者の増加が課題となっています。高齢者が自身の口腔に関心を持ち、口腔機能を維持・向上できるよう支援します。

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
回数（回/年）	計画値	6	6	6
	実績値			
人数（人/年）	計画値	100	100	100
	実績値			

5 地区組織の育成

高齢者の健康づくりをサポートする地区組織として、次の3団体の地区組織の育成をしています。担い手の高齢化も進んでいるなか、新たな人材の確保も必要となっていますが、地区組織活動の活性化と継続に取り組んでいきます。

【高齢者の健康づくりをサポートする地区組織】
食生活改善推進員、ファミリー健康プラン推進委員会、ユースポ！

第2節 こころの健康づくり

1 こころの健康づくり事業

新潟県では「新潟県自殺対策計画」によって「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指した施策を計画的に推進しています。ただし、本町においては「第2次湯沢町ファミリー健康プラン」の最終評価実態調査結果では、全世代において「こころの健康に不安や心配がない」人の割合が目標に達しておらず、また、青壮年期世代の「孤独だと思わない」人の割合が減少しています。

こうしたなかで、本町では、メンタルヘルス対策として広報等を活用した普及啓発を行うだけでなく自殺対策に資する人材の育成としてゲートキーパー養成研修や、個別事例検討会、関係機関とのネットワークづくりのための協議会開催などを行っています。

新潟県の進める施策と連携しながら、本町に置いても一人ひとりがこころの健康に関心を持ち、悩みや不安・ストレスに上手に対処できる力を身につけることができるよう支援するとともに、孤独・孤立対策への取組みを推進します。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業数	計画値	15	15	15	11	11	11
	実績値	10	11	11			
人数(人/年)	計画値	250	250	250	500	500	500
	実績値	636	511	500			